|  |
| --- |
| **４５４２．蔵置料金請求先登録** |

|  |  |
| --- | --- |
| 業務コード | 業務名 |
| ＣＵＲ | 蔵置料金請求先登録呼出し |
| ＣＵＲ０１ | 蔵置料金請求先登録 |

１．業務概要

ＡＷＢ番号及び、蔵置料金請求先コードを入力することにより、蔵置料金請求先をシステムに登録する。

（１）「蔵置料金請求先登録呼出し（ＣＵＲ）」業務の場合

ＣＵＲ０１業務により登録された蔵置料金請求先コードを呼び出す。

（２）「蔵置料金請求先登録（ＣＵＲ０１）」業務の場合

ＡＷＢ番号及び、蔵置料金請求先コードを入力することにより、蔵置料金請求先をシステムに登録する。本業務は、貨物情報の登録後から削除までの間、任意で可能とする。なお、変更・取消しも本業務で実施可能とする。

２．入力者

航空会社、航空貨物代理店、通関業、機用品業、混載業、保税蔵置場、輸出入者

３．制限事項

　１業務で入力可能なＡＷＢ番号は最大３０件とする。

４．入力条件

（１）ＣＵＲ業務の場合

（Ａ）入力者チェック

　システムに登録されている利用者であること。

（Ｂ）入力項目チェック

（ａ）単項目チェック

「入力項目表」及び「オンライン業務共通設計書」参照。

（ｂ）項目間関連チェック

「入力項目表」及び「オンライン業務共通設計書」参照。

（Ｃ）輸入貨物情報ＤＢチェック

入力されたＡＷＢ番号に対する貨物情報が輸入貨物情報ＤＢに存在すること。

（２）ＣＵＲ０１業務の場合

（Ａ）入力者チェック

　システムに登録されている利用者であること。

（Ｂ）入力項目チェック

（ａ）単項目チェック

「入力項目表」及び「オンライン業務共通設計書」参照。

（ｂ）項目間関連チェック

「入力項目表」及び「オンライン業務共通設計書」参照。

（Ｃ）輸入貨物情報ＤＢチェック

　　 入力されたＡＷＢ番号に対する貨物情報が輸入貨物情報ＤＢに存在すること。

（Ｄ）保税蔵置場別ＣＲＥＤＩＴ扱業者ＤＢチェック

入力された蔵置料金請求先コードに対する蔵置料金請求先情報が保税蔵置場別ＣＲＥＤＩＴ扱業者ＤＢに存在すること。

５．処理内容

（１）ＣＵＲ業務の場合

（Ａ）入力チェック処理

前述の入力条件に合致するかチェックし、合致した場合は正常終了とし、処理結果コードに「０００００－００００－００００」を設定の上、以降の処理を行う。

合致しなかった場合はエラーとし、処理結果コードに「０００００－００００－００００」以外のコードを設定の上、処理結果通知の出力を行う。（エラー内容については「処理結果コード一覧」を参照。）

（Ｂ）出力情報出力処理

後述の出力情報出力処理を行う。出力項目については「出力項目表」を参照。

（Ｃ）注意喚起メッセージ出力処理

登録を行うには再送信が必要な旨を注意喚起メッセージとして出力する。

（２）ＣＵＲ０１業務の場合

（Ａ）入力チェック処理

前述の入力条件に合致するかチェックし、合致した場合は正常終了とし、処理結果コードに「０００００－００００－００００」を設定の上、以降の処理を行う。

合致しなかった場合はエラーとし、処理結果コードに「０００００－００００－００００」以外のコードを設定の上、処理結果通知の出力を行う。（エラー内容については「処理結果コード一覧」を参照。）

（Ｂ）輸入貨物情報ＤＢ処理

①蔵置料金請求先及び蔵置料金請求先登録者を登録する。

②蔵置料金請求先に「Ｘ」が入力された場合は、入力されたＡＷＢ番号に対して登録済みの蔵置料金請求先を取り消す。

（Ｃ）出力情報出力処理

後述の出力情報出力処理を行う。出力項目については「出力項目表」を参照。

６．出力情報

（１）ＣＵＲ業務の場合

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 情報名 | 出力条件 | 出力先 |
| 処理結果通知 | なし | 入力者 |
| 蔵置料金請求先登録呼出し結果情報 | なし | 入力者 |

（２）ＣＵＲ０１業務の場合

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 情報名 | 出力条件 | 出力先 |
| 処理結果通知 | なし | 入力者 |
| 蔵置料金請求先確認情報 | 印刷表示に「Ｐ」が入力された場合 | 入力者 |